

富士山(吉田大沢)スキー滑降記録

(鳥切昇治記)

期 間:2011年 6 月5日(日)
場 所:富士山 吉田大沢
メンバー:鳥切 昇治(71才)単独
行動記録

今シーズンのバックカントリースキーの滑り納めを富士山でしようと、立山山行から帰った5月中頃から機会を伺っていた。生憎と雨の日が多く6月に入ってしまい諦めていたが、ネットで梅雨の晴れ間が続く予報を見て、場所を吉田大沢に決め単独で滑りに行くことにした。
昨年 5 月富士宮口を滑って以来の富士山である。



スキー滑降した吉田大沢

6月 5 日(日) 天候:晴・曇

早朝自宅を出発、東名を走る。静岡県に入ると富士山が迎えてくれる。御殿場 IC を出て東富士五湖道路へ向う。滑る予定の吉田大沢を車窓に見て心が躍る。東富士五湖道路を河口湖 IC で下り、スバルラインに入る。新緑が目染み、高度を上げて行くと唐松も淡い緑になっている。
五合目駐車場には結構車が来ていた。スキーをする人達もいて車の脇で準備をしている。予定より早く着いたので、腹ごしらえをし、ノンビリ出発準備をしていたら1時間も経ってしまった。兼用靴を履いて出発する。
まだ閉っている売店と観光用の乗馬馬の間を抜け富士吉田口登山道に向う。
富士吉田口六合目の登山道に入り見上げると、吉田大沢の雪線は大分上の方である。スキー兼用靴で来たことを悔やむ。歩き難い。特に溶岩の所は参ってしまう。



五合目付近から山頂を望む



吉田大沢から夏道を見る

吉田大沢に入って雪渓を登れないかと、入り口を探すが見付からない。帰りに滑降終了点から夏道に出た所が七合目のトモエと言う山小屋だったので、登りでどうして気が付かなかったのかと見回したら、夏道の左側の雪の斜面を登っていて、ここを通らなかったことが分った。結局、吉田大沢に入ったのは八合目であった。溶岩混じりの砂地の斜面をトラバースして雪面に出る。上を見ると登っている人は誰もいない。先に登って行ったスキーヤー達は皆夏道を登って行ったようだ。上の方に吉田大沢を下って来る登山グループが見える。

シールを着けて登り始める。雪は緩んでいてスリップし易いので雪面を踏み込むように歩く。次第に高度感が増して来る。もう一人夏道から吉田

大沢に入って来たスキーヤーがいて同高度を登っている。次第に疲労感が出て両足太腿の裏側が痙攣しそうな感じである。シール登行を始めて1時間も経っていない。スキーを脱いで休憩する。ザックとスキーを流さない様雪面を切って座る。ガスが湧いてきて嫌な雰囲気である。

スキーを履き再び登り始める。傾斜も増して来て、どこまでシール登行出来るか心配になるが登り続ける。時折ガスで視界が悪くなるがしばらくすると消えるのでホッとする。標高 3600mを超えた辺りで上からボーダーとスキーヤーが滑って来た。気持ち良さそう！

あと標高差で 100m余りだが、急斜面で息もあがる。しばらく歩いては息を整える。相前後して登っていたスキーヤーが視界から消えた。もうすぐ頂上の様だ。



剣ヶ峰をバックにハイポーズ

屏風尾根を突き上げた所の白山岳から少し下ったコルにようやく到着した。何とかシールで登り切った。ヤレヤレ。休憩したおかげで足の疲れが和らいだようだ。高度障害もない。

お釜側を見ると金名水の所の様だ。傍に居た登山者に剣ヶ峰を入れて写真を撮ってもらおう。今回、兼用靴ではきついので剣ヶ峰に登るのはパスする。

座り込んで昼食とする。夏道を登ったスキーヤー達が下りて来ては吉田大沢へ滑って行く。寒いが風は余り無い。時折青空が覗く。シールをしま



滑降を開始しようとするスキーヤー
い、靴を履き直して滑る準備をする。

滑降を開始する。急斜面を転倒しない様慎重に滑る。雪は締っていてターンし易い。広い斜面に出た。下を見ると登って来る人がまだいる。滑っては呼吸を整えるため止まる。雪が緩み緊張感から解放され滑って行く。末端に近くなると雪面が汚れて来て小さい溶岩が点々と転がっている。それを除けながら慎重に滑る。末端に着いた。滑って来た大斜面を振り返る。



滑降終了点 ガスで上部は見えない



吉田大沢を途中まで滑り下方を見る

昨年滑った富士宮口の斜面より此方の方がスケールは大きいように感じた。5月であれば五合目まで滑れるのだろう。

時計を見ると15分余りしか経っていない。スキーを外して溶岩混じりの斜面をトラバースして七合目山小屋の前に出る。一息入れてからスキーをきれいにしザックに付け、夏道を下り始める。兼用靴でも砂地は歩き易いので助かる。六合目まで下り水平道に入るとダラダラの登りでいやに

なる。五合目駐車場に着いた。観光客が結構いて賑やか。

帰路、日曜日とあって東富士五湖道路に入って山中湖 IC 付近から御殿場まで渋滞、更に東名に入ると厚木 IC の先から40kmの渋滞で大井松田 IC 付近からノロノロ運転になる。

厚木 IC で下りてからは順調に走り、無事帰宅した。

この時期に首都圏から日帰りでも BC スキーが出来るなんて幸せである。充実した一日であった。



スバルライン五合目

コースタイム

スバルライン五合目駐車場 6:50—(8:05~8:10)—9:20 吉田大沢に出る 9:35—(10:55~11:05)—12:30 白山岳コル 13:35—13:50 滑降終了点(七合目) 14:15—六合目 14:48—15:15 五合目駐車場

往復路タイム

自宅 3:44—4:20 厚木 IC—(東名)—御殿場 IC 4:55—(東富士五湖道路)(スバルライン)—5:53 五合目駐車場 15:40—(スバルライン)—16:00 河口湖 IC—(東富士五湖道路)—17:25 御殿場 IC—(東名)—厚木 IC 18:55—19:50 自宅 (全走行キロ数 257km)

以上